

SAFETYDATASHEET(製品安全データシート)

1.製品及び会社情報

- 【製品名】 Foula エクストラボンド LED グルー 500mPa・s
【会社名】 株式会社ケイトオブ東京
【住所】 東京都渋谷区神宮前 6-19-20 第 15 新井ビル 7 階
【電話番号】 03-6427-7797
【担当部署】 商品部管理課
【推奨用途】 雑貨用接着剤
【使用上の制限】 推奨用途以外に使用される場合には、事前に安全性をご確認ください。
本製品が体内に留意する恐れのあるような用途には使用しないでください。

2.危険有害性の要約

【GHS 分類】

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分 4

健康有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分 2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分 2 B
皮膚感作性 : 区分 1
生殖毒性 : 区分 2
特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分 3（気道刺激性）

環境有害性

水性環境有害性 長期（慢性） : 区分 3

上記記載がない危険有害性は、区分に該当しない又は分類できない

【GHS ラベル要素】

絵表示	: 
注意喚起語	: 警告
危険有害性情報	: 可燃性液体。皮膚刺激。アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ。眼刺激。呼吸器への刺激の恐れ。生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。長期継続的影響により水生生物に有害。

注意書き

【安全対策】	: 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。 ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用する。
--------	---

【応急処置】

皮膚についた場合	: 多量の水で洗うこと。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用している場合に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合	: 医師の診断/手当を受けること。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合	: 医師の診断/手当を受けること。
眼の刺激がつづく場合	: 医師の診断/手当を受けること。
火災の場合	: 消化するために、粉末消火剤、炭酸ガスを使用すること。

気分が悪いときには医師の診断を受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】	: 換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。
------	---

【廃棄】	: 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託すること。
------	--

3.組成、成分情報

単一製品、混合物の区分：混合物

一般名：シアノアクリレート系接着剤

化学特性：紫外光／可視光により発熱を伴う重合反応を起こす。
水分により同様に重合反応を起こす場合もある。

全成分：2-シアノアクリル酸エチル、メタクリル酸メチル系重合体、2,4,6-トリメチルベンゾイルジフェニルホスフィンオキシド、カーボンブラック

4.応急処置

吸引した場合：新鮮な空気のある場所に移し、速やかに医師の診断/手当を受けること。

皮膚に付着した場合：無理にはがさず、お湯の中出ゆっくり揉み解しながら剥がすこと。
または、専用のはがし液やアセトンを使用すること。

眼に入った場合：清浄な水で繰り返し洗浄し、眼科医の診断/手当を受けること。
眼をこすったり、はがし液やアセトン等の溶剤は、絶対に使用しないこと。

飲み込んだ場合：直ちに医師の診断/手当を受けること。

5.火災時の措置

消火剤：粉末消火剤、炭酸ガス

特有の消火方法：燃焼の際は、火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却する。
消火作業は風上から行う。

消火を行う者の保護：消火作業の際は適切な保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業の際には保護マスク、保護手袋、保護眼鏡などの保護具を着用し、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。

環境に対する注意事項：公共水域への排出、または地下浸透を防止し、環境への影響をおこさない注意する。

除去方法：漏出源を取り除き漏れを止める。漏出した接着剤は保護手袋（ポリエチレン製）を着用して布などで少量ずつ拭き取る。布などに多量の接着剤がつくと急速に重合して発

熱することがあるので注意する。

二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

7.取扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策 : 適切な保護具（暴露防止及び保護措置の項を参照）を着用すること。
換気設備を設けること。着火源の周辺での使用を避けること。

注意事項 : 皮膚を瞬間かつ強力に接着するため、使用に際しては十分注意すること。
取扱い場所周辺は蒸気が滞留しないよう換気に配慮し、火気厳禁とする。
ミスト、蒸気の吸入を避けること。

安全取り扱い注意事項 : 取扱い後は手、顔等を良く洗い、うがいをする。

保管

技術的対策 : 容器を密閉して保管する。火気厳禁とする。
混触禁止物質 : 水、アミン等の塩基性物質との接触を避けること。
適切な保管条件 : 5℃以下で冷蔵保管すること。
安全な容器包装材料 : 当該物質に用いる専用のポリ容器以外の使用を避けること。

8.暴露防止及び保護措置

暴露限界値 : 2 - シアノアクリル酸エチル 0.2ppm ACGIH TWA（2005 年版）
設備対策 : 室内で取扱う場合は、局所排気装置又は全体換気装置を設置することが望ましい。
または、蒸気が滞留しないように十分な措置を施すこと。

保護具

呼吸用保護具 : 簡易マスク。
手の保護具 : 保護手袋(ポリエチレン製)
眼の保護具 : 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具 : 長袖、長ズボンの作業服、保護用前掛け、保護帽、保護靴。
衛生対策 : 保護具は保管場所を定めて保管し、清潔なものを使用する。
取扱い場所の近くに手洗い、洗眼、うがい等の設備を設け、その位置を明示する。

9.物理的及び化学的性質

物理的状态	
物理的状态	: 液体
色	: 無色～淡緑色透明
臭い	: 特有の刺激臭
融点／凝固点	: < 0℃
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 185℃
可燃性	: あり
爆発限界及び爆発上限界／可燃限界	: データなし
引火点	: 80℃
自然発火点	: 490℃
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動的粘弾性	: データなし
溶解度	: 水に不溶。アセトンに可溶。
オクタノール／水分配係数	: データなし
蒸気圧	: 1Pa (25℃)
密度及び／又は相対密度	: 0.9～1.1 g/cm 3(23℃)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10.安定性及び反応性

反応性	: 光、熱により発熱をとまなう重合を開始する。
化学的安定性	: 一般的な温度、気圧下においては安定である。
特定条件下で生じる危険な反応	: 水やアミン等の塩基性物質に接触すると急速に重合し、かなり発熱する。 また、直射日光をあてると重合して発熱を伴うことがある。
避けるべき条件	: 着火源。水、塩基性物質との接触。直射日光。長時間の蛍光灯下での放置。
混触禁止物質	: 塩基性物質。
危険有害な分解生成物	: 燃焼等によって CO 2 , CO 及び NOx を発生する恐れがある。

11.有害性情報

急性毒性（経口）：[2-シアノアクリル酸エチル] LD50 >5,000mg/kg（ラット）

急性毒性（経皮）：[2-シアノアクリル酸エチル] LD50 >2,000mg/kg（ウサギ）

急性毒性（吸入）：[2-シアノアクリル酸エチル] データなし

皮膚腐食性／刺激性：皮膚刺激 区分 2

眼に対する重篤な損傷・刺激性：眼刺激 区分 2 B

呼吸器感作性：情報なし

皮膚感作性：アレルギー性皮膚反応をおこすおそれ 区分 1

生殖細胞変異原性：情報なし

発がん性：情報なし

生殖毒性：生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い 区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：呼吸器への刺激のおそれ（気道刺激性） 区分 3

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：情報なし

吸引性呼吸器有害性：情報なし

12.環境影響情報

水性環境有害性（急性）：有用なデータなし

水性環境有害性（慢性）：長期継続的影響により水生生物に有害

残留性/分解性、生物蓄積性：有用なデータなし

土壌中の移動性：有用なデータなし

オゾン層への有害性：有用なデータなし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄する場合は、液を少量ずつ直射日光に当てるか、又は多量の水の中に徐々に滴下し、かき混ぜながら重合し、完全に固化したことを確認した後、関連法規並びに地方自治体の基準に従い廃棄をおこなうか、都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方自治体がその処理を行なっている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器および包装：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準にしたがって適切な処分を行なう。

14. 輸送上の注意

陸上輸送：消防法・労働安全衛生法等に基づき積載、輸送を行なうこと。

海上輸送：船舶安全法・港測法の規定に従うこと。

航空輸送：航空法の規定に従うこと。

MAPOL 73/78 付属書 II 及び BC コードによるばら積み輸送される液体物質：該当しない。

輸送の特定の安全対策及び条件：運搬に際しては、容器に漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行なうこと。

15. 適用法令

消防法：危険物第 4 類第 3 石油類(非溶性液体)(危険等級Ⅲ)

毒物及び劇物取締法：該当しない。

労働安全衛生法：表示対象物質含有：2-シアノアクリル酸エチル

通知対象物質含有：2-シアノアクリル酸エチル

化学物質管理促進法(PRTR)：該当しない。

外国為替及び外国貿易管理法：輸出令別表第 1 の 16 項(キャッチオール規制)

16. その他の情報引用文献

- 1) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル,作業場内の表示及び安全データシート JIS Z 7253
- 2) 日本化学工業協会編「製品安全データシートの作成指針」
- 3) 化学工業日報社「化審法化学物質」
- 4) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合検索システム
- 5) 中央労働災害防止協会 安全情報センター GHS モデル MSDS 情報
- 6) RTECS (Registry of Toxic Effects of Chemical Substances) by NIOSH
- 7) ACGIS

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得る為、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、個々の取扱い等の実態に応じて適切な使用条件を設定くださるようお願いします。